

# 平成 27 年度 事業報告



## 岡山理科大学附属中学校

中高一貫校の優れた教育内容を提供し、学んでいる子どもたちの学力をさらに伸ばし、難関大学入試を突破するだけでなく、社会に出て各分野で活躍できる人材を育成します。



従来の暗記や単純な演習中心から『自ら主体的に学ぶ力を身に付けると共に、学ぶ喜びを共感できる』生徒の育成を目標にし、受験勉強にとらわれることなく、本当の学び方、学問の面白さ、学ぶ楽しさをも伝えていきました。

また、本校の特色のひとつである中・大連携により、自然教室・天体観測・環境問題などの学習活動を行うことによって知識や技能の深化を図り、国際交流やボランティア活動を通じて幅広い人間性を構築し、論語をとりいれた道徳教育により正しい判断と実践ができる全人的な人材の育成に努めました。

加えて、附属高校校訓を下に「立志三風」を定め、その実現のために「生活三則」の指導を教職員一丸となって取り組みました。

### 立志三風

- 一、慎独・去雑心の志風と守る（自主）
- 一、振気・勉学の良風と尚ぶ（努力）
- 一、忠恕・爽凜の美風と養う（友愛）

### 生活三則

- 一、場と清めましよう
- 一、時と守りましよう
- 一、礼と正しましよう

岡山理科大学附属中学校

校長 河村 定彦

## 教学の充実

### ■クラス別教育目標

- ・スーパー選抜クラスの全国中学校偏差値60を維持し、岡山県での合格難関校の維持を目指しました。また自ら進んで学習する「自立学習」を身につけさせることで、難関大学に合格できる学力を養いました。
- ・選抜クラスは、基礎学力の充実をはかり、学ぶことの大切さを身につけさせ、大学進学に対応させました。

### ■授業計画書の作成

全科目の授業計画書を作成し、授業内容及び授業進度を生徒・保護者が理解し、円滑な学習活動を推進しました。

### ■チューターによる自習教室

通年で週3日（月・水・金）開設し、生徒の自学自習能力を向上させました。

### ■イマージョン教育

実技科目でイマージョン教育を実施し国際性豊かな人材育成を図りました。

英会話は1～3年生の全クラス、イマージョン美術はスーパー選抜クラス1・2年を対象に実施しました。

### ■ 実用英語技能検定・漢字能力検定を全生徒に実施

- ・ 1 年在籍生徒の 8 割以上が 5 級以上を取得しました。
- ・ 2 年在籍生徒の 7 割以上が 4 級以上を取得しました。
- ・ 3 年在籍生徒の約 6 割が 3 級以上を取得しました。
- ・ 教員が生徒に対し、積極的に受検指導を行い、特に 2 次対策としてマンツーマンで面接指導を行いました。

### ■ TOEIC Bridge を 1・2 年生の生徒に実施

- ・ 2 年終了時には 180 満点中 120 点をスコアとすることを目標としました。（3 月に実施）
- ・ 150 点を超える生徒には TOEIC 受験を積極的に促しました。

### ■ 教員研修会

『授業改善』を目的に数学・道徳において研修会を実施しました。

## 生徒指導

### ■ 社会性規範育成への取組

社会的なモラルは学校生活においても不可欠です。学校独自としての規則だけではなく、その場の状況に適した言動が取れるよう、常日頃から生徒への指導を行い、また話し合いも大切にしました。

### ■ 服装指導の実施

服装モットーは「凜とした爽やかさ」です。規定のものに限らず全てにおいて TPO に合わせ、清々しさを持った着こなしを目指し、指導や声かけを行いました。

### ■ 将来につながるリーダーの育成

体育祭、爽凜祭（学習発表会）、球技大会、オープンスクールなど様々な学校行事のほとんどは実行委員が主体性を持って運営していきます。その中で企画力、実践力を学び、総合的に人間力を高めるよう指導を行いました。

### ■ 挨拶の励行

気持ちを込めて挨拶ができるように、また、正しい言葉遣いができるよう励行しました。

### ■ 情報教育

外部講師を招き、インターネット等によるトラブルにまきこまれないための情報教育を行いました。

### ■ 家庭、地域社会との協力・連携強化

スクールバスの乗車指導・通学指導などの登下校指導の実施、毎日の生活ノートの確認など生徒の学校生活や地域および家庭での生活などをサポートしました。

### ■ 教育相談室・保健室との連携

思春期である中学生期を心身ともに健康で過ごすために綿密に連絡を取り、連携を強化しました。

## 教務関係

### ■ 授業・学習関係

- ・ 1 単位当たり年間 35 時間の授業時間を確保し、行事や休日では抜ける授業は代講日の設定、平日補習、夏期補充、春期補充を行いました。
- ・ 自習教室や平日補習を利用し、クラスの種別に関係なく、授業で理解できなかった部分の補いができる機会を創設し、多くの生徒が活用しました。部活動より補習等の学習活動を優先させました。
- ・ 休業期間中の補習は進路指導課と連携し、夏期に 8 日、冬期に 3 日、春期に 4 日実施しました。実施科目は国語、社会、数学、理科、英語とし、部活動より指名補習を優先させました。
- ・ 1 年生では学習成績や本人の希望により選抜クラスからスーパー選抜クラスへの移動を認め、9 名が移動しました。

### ■ カリキュラム・シラバス関係

授業(数)中心のカリキュラムから学習内容の理解度に応じた指導が可能なカリキュラムを作成しました。授業で復習が十分できない場合は先取り学習に固執せず、学習内容の定着を第一としました。

### ■ 考査関係

・定期考査の成績処理終了後、各教科に各学年の学習進捗状況の把握、授業計画書の見直しを求め、実施しました。

・成績不振と判定する基準点を設け、指名補習で基準点に達していない生徒への指導を行いました。指導期間中の部活動は原則禁止としました。

### ■ 情報発信

・学年通信を発行し、生徒の現況を家庭に伝え教育活動への協力を求めます。文書とウェブの両方を活用しました。

## 主な行事

4月9日	入学式
4月16日	健康診断
4月18日	授業参観
5月30日	PTA総会
6月2日	音楽鑑賞
9月26日	体育祭(岡山ドーム)
10月31日	爽凜祭(学習発表会)
11月12日～14日	修学旅行
1月22日	百人一首大会
2月4日～5日	校外活動
3月17日	義務教育修了式
3月25日	修了式
3月18日～26日	海外研修

## 生徒・教職員数

### ■ 在籍生徒数

(平成27年5月1日現在)

学校名	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
岡山理科大学附属中学校	80	55	240	167

(単位：人)

### ■ 教職員数

(平成27年5月1日現在)

校長	教頭	教諭	教員計
1	1	16	18

事務職員
2

(単位：人)

## 財務関係

### ■事業活動収支

(単位：千円)

科目		年度	
		27年度 決算額	前年度 決算額(※1)
教育活動 収支	収入		
	学生生徒等納付金収入	89,777	89,135
	経常費等補助金	62,989	63,009
	その他収入	4,469	23,495
	計	157,235	175,640
	支出		
	人件費	169,308	193,367
	教育研究経費	32,163	34,224
管理経費	12,350	12,964	
その他支出(※2)	0	0	
計	213,820	240,556	
教育活動収支差額		-56,585	-64,916
教 活 外	収入		
	受取利息等	9	*
	借入金利息等	0	*
教育活動外収支差額		9	*
経常収支差額		-56,576	-64,916
特 別	収入		
	資産売却差額等	0	*
	資産処分差額等	0	*
特別収支差額		0	*
基本金組入前収支差額		-56,576	-64,916
基本金組入額合計		0	-32
当年度収支差額		-56,576	-64,948

※1 前年度決算額は、新会計基準の該当科目に反映させた

※2 \* 「教育活動収支」の「その他収入・支出」に含めた